



令和4年1月31日
陸沢町上之郷1736
陸沢町立陸沢こども園
TEL0475-44-0050



2歳児(こあら組)の姿

先月は、コマや凧作りを行い、正月遊びを楽しみました。また、カルタや絵合わせカード、神経衰弱などの簡単なルールのある遊びにも興味をもち、保育者の真似をしながら覚え、友達と一緒にルールを守って遊ぶ楽しさを感じています。

言葉で伝えることが増え、室内遊びではままごとやお店屋さんごっこ、なりきって遊ぶことを楽しんでます。保育者と友達との関わりも多くなり、「いらっやいませ。」「〇〇ください。」「おまたせしました。」など役に合った言葉のやりとりを楽しみ、保育者が必要に応じて言葉を補ったり、その場や状況に応じた言葉を知らせたりしていき、相手に伝わる喜びや保育者や友達と一緒に遊ぶ面白さを十分に味わえるような経験をしていきたいと思っています。

3学期になり、進級に向けて身支度など自分で出来ることに少しずつ挑戦していこうと考えていますので、お家でも着脱、所持品の始末など子どもと一緒にしながら出来た喜びに共感し、自信に繋げていっていただけたらと思います。御協力をお願いします。

5歳児(ほし・つき組)の姿

子どもたちのこども園生活も残りわずか。3学期が始まり、毎日過ごしてきたこども園との別れは寂しいようですが、その中でたくさん成長してきました。初めはルールが理解できずゲームにならなかったドッジボールも、友達同士で誘い合いコートを作り、自分たちで遊びを進め楽しむことができるようになりました。また、コマ回しは今まで回すことのできなかつた子どもたちも周りの友達から刺激を受け、何度も挑戦したことで回せるようになり、保育者に嬉しそうに伝える子どもの姿も見られました。徐々に苦手な事にも諦めず、ねばり強く取り組もうとする力が身に付いてきました。

残りのこども園生活では、友達や保育者と過ごせる一日一日を大切に、たくさん遊び、笑顔で毎日楽しく、幸せな思い出とともに卒園していけるようにしていきたいと思っています。

引き続き、御家庭では生活習慣を見直したり、身の回りの自分でできることは自立できるよう見守ったりして、就学に向け期待がもてるように御協力よろしくをお願いします。

4年ぶりに、雪が積りました。子どもたちは嬉しそうに「先生、雪降ってきた。」「白くなってきた。」「外で遊びたい!」と雪を見ながら話していました。外に出ると、手のひらに落ちてきた雪を見て「雪だ。」と嬉しそうに見ていました。「頭の上に付いてる。洋服にも付いた。」と降ってくる雪を見ては友達と笑顔で話していました。触れることの少ない、冬の自然に触れることができ、友達や保育者へ自分の嬉しい思いを伝えていました。

新型コロナウイルス感染症が、急激に拡大しています。保護者の方も、子どもたちも健康を守るために、うがい・手洗い・手指の消毒などできることを、御家庭も引き続きお願いします。園でも、うがい・手洗い・手指の消毒・おもちゃや子どもたちが触れる場所の消毒を行います。風邪症状(発熱、咳、鼻水)などがある場合は、御家庭でお子さんとの時間を作っていただき、保護者の方と安心して過ごすことで、早く元気になり、こども園にも元気で登園できると思いますので、御理解・御協力をお願いします。また、お休みされる場合は、園へ御連絡をお願いします。早寝・早起きをし、規則正しい生活習慣を心掛けていただき、ウイルスに負けない強い身体をつくりましょう!

2月3日の節分にちなんで、各学年で鬼のお面と三方を作りました。期待や自信をもって作ったようで、「先生。緑の鬼にしたよ。」「髪の毛たくさんつけたんだよ。」と教えてくれました。出来上がったお面を付けて、「先生。これやりたい。」と話す子どもに保育者は、「被りたいのね。」と言いながらお面を被り、嬉しそうに鬼になりきっていました。お面や三方は、節分の日に持ち帰りますので、御家庭で、豆まきの際に使っていただけたらと思います。



2月のねらい

- 0歳児・保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする。
 - ・保育者を仲立ちとして、友達とのやりとりを楽しむ。
- 1歳児・身の回りのことを自分でしようと、できた喜びを感じる。
 - ・保育者や友達と簡単な言葉のやりとりをしながら、見立て遊びを楽しむ。
- 2歳児・身の回りのことが、自分でできることを喜び、自信をもつ。
 - ・経験したこと、興味があることを保育者や友達と自由に表現して楽しむ。
- 3歳児・生活の見通しをもち、身の回りのことを自分で行う。
 - ・寒さに負けず、友達と一緒に身体を動かしたり、ルールのある遊びを楽しんだりする。
 - ・冬の自然事象に触れ、面白さや不思議さを感じたり、季節の変化を感じたりする。
- 4歳児・健康に過ごすための生活習慣を身に付け、見通しをもって様々な活動に取り組む。
 - ・冬から早春にかけての自然の変化に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。
 - ・友達と思いを伝え合って遊ぶ楽しさを味わう。
- 5歳児・生活に見通しをもち、友達と一緒に生活を進めようとする。
 - ・修了や就学への期待をもち、必要な活動に意欲的に取り組む。
 - ・自然事象や伝統行事に親しみ、遊びに取り入れて楽しむ。



わくわく広場・園庭開放・おはなしの広場は新型コロナウイルス感染症が拡大しているため、2月は中止になります。

節分「鬼は外！」

節分は、1年の節目とされ、新しい年を迎える前に厄(鬼)を払う行事をします。「鬼は外、福は内」と叫んで鬼を追い出し、福が出ていかないように戸を閉めて、年の数だけ豆を食べます。「みんなが1年間元気に過ごせますように」と無病息災を願います。



2月の歌♪みんなで歌ってみましょう

- ・ゆき・ゆきのペンキやさん
- ・まめまき・おにのパンツ
- ・ゆきのこぼろず・ドキドキン1年生
- ・1年生になったら
- ・思い出のアルバム
- ・コンコンクシヤンの歌



冬の遊び「氷を作ろう」

寒い日には、プリンなどの空き容器に水を入れて庭に置いてみてください。次の日の朝、氷ができています。子どもたちは嬉しそうに触るといいます。機会があれば、ぜひ作ってみてください。



0歳児



1歳児



2歳児



0歳児:3学期の初めに、ししまいがクラスにきました。子どもたちはびっくりして、保育者に助けを求めています。「ししまいに噛んでもらえると1年いいことがあるんだよ。」という保育者の言葉よりも、ししまいの怖さの方が上回ったようですが、1年間を無事に過ごせるように、1回ずつ頭を噛んでもらいました。初めて雪を見た子どもたち。何か分からない不安から、触ろうとしない子どもや、不安そうな表情をしている子どもたちでしたが、最後は全員指で触ることができました。

1歳児:雪で遊んだ子どもたち。保育者と一緒に、小さい雪だるまを作ったり、ままごとに見たてて、ごっこ遊びをしたりしました。園庭の砂場では、友達と消防車の乗り物に乗って出かけました。自分で靴を履こうとしたり、脱いだりできることは自分で取り組んでいます。給食では、友達顔についている野菜をのぞき込んだり、指したりする姿も見られ友達に教えてあげる姿も見られました。

2歳児:友達や保育者が正月遊びや制作をしていると、興味をもって見に来て、「やりたい。」という姿や、出来上がりを喜ぶ姿が見られました。雪が積もっていることに大喜びで外に出ました。友達と雪を投げ合ったり、保育者と大きな雪だるまを作りました。太陽が当たり、雪が解けて水になって落ちてくるのを見て、水を集めようと、スコップで集めようとしていたり、バケツを置いたりして子どもたちで試していました。豆まきの時に使う三方作りでは、絵の具を使い、鬼のパンツに見立てた豆入れを保育者と一緒に作りました。

3歳児



4歳児



5歳児



3歳児:今年の干支の「とら」を絵の具で模様を描いたり、画用紙にのりで貼ったりしました。思い思いのとらが出来上がりました。かるたやこまで正月遊びを楽しんだり、クラスにししまいが来たりしました。最初は驚いて逃げていましたが、保育者が、「頭を噛まれると1年元気に過ごせるよ。」の言葉を聞いて安心したようで1回ずつ頭を噛んでもらいました。園外保育で、幼児専用バスに乗り、睦沢町内をドライブしました。バスの中での約束を聞き、バスの座席に座ってスーパーや、道の駅、お寺などを見てきました。友達と自分の気持ちを伝えながら遊んだり、4歳児としっぽ取りを一緒にしたりしました。

4歳児:雪が積もったこども園を見て、「真っ白〜。」と嬉しそうに戸外に出ると、木に積もった雪を見つけて、揺らして「上から降ってきた。」と言いながら、落ちてくる雪を楽しんでいました。お店屋さんごっこに向けて、ラーメンを作ったり、アクセサリーを作ったりして期待をしています。鬼のお面作りにも挑戦し、目が出る部分をはさみで切ったり、髪の毛のお花紙を丸めたものを貼ったりしました。今までの色々な経験で自信が付いたのか、どこを工夫したのか話してくれて、自信をもって作っていました。

5歳児:筆と墨を使って、自分の名前を書きました。干支の虎の模様を描いた台紙に貼ったり、折り紙でとらを折って貼ったりしました。雪が積もった日は、みんなでかまくらを作りました。雪を集めて、固めて子どもたちは入れるくらいの穴を掘って入りました。お店屋さんごっこの準備を友達と協力して品物や必要な物を作ったり、活動を友達と話し合いをしたりしながら進められるようになっていきます。